



7月31日開催

令和8年度
子ども議会・
中学生サミット
報告

土浦の未来を、私たちの手で

子ども議会

「子ども議会」に市内8校の中学校・義務教育学校から、子ども議員8人と子ども議長1人が参加しました。次世代を担う中学生が土浦をより良いまちにするために考えた提案と、それに対する市の答弁の概要を紹介します。

また、各校の代表が身近な課題について一緒に考える「中学生サミット」を同時開催しました。

問子ども議会について…秘書課(☎内線2404)、中学生サミットについて…指導課(☎内線5131)



モール505にバスケットゴールを



モール505にバスケットゴールを設置し、年齢や国籍に関係なく交流できる場所をつくることを提案します。バスケットボールは、言葉が通じない人とも一緒に楽しむことができます。姉妹都市・パロアルト市の友人との交流で、言葉が通じなくても気持ちが伝わることを経験しました。バスケットボールを通じて、モール505や土浦のにぎわいにもつながると思います。



土浦一中
大屋 圭太 議員

☎答弁

バスケットボールを通じて、言葉や文化の違いを越えた交流が生まれることや、モール505のにぎわいにつながる点は大切だと考えています。一方、騒音なども課題になると思います。今後、モール505の歩行空間の活用を考える際の参考にしていきます。

つくばエクスプレスを土浦へ



土浦とつくばの間には電車がいないため、車を使わないと移動しにくい状況です。そこで、つくばエクスプレスを土浦まで延伸することを要望します。

土浦とつくばを電車で結ぶことで、両市が活性化するだけでなく、夜道の運転や家族の送迎の負担を減らすことができます。また、私たち中学生も友達とつくばへ出かけやすくなり、放課後や休日の楽しみ方が増えると思います。



土浦二中
菅谷 諒介 議員

☎答弁

つくばエクスプレスの土浦延伸は、まさに都市の活性化につながる重要な事業です。実現にはまだ多くの課題がありますが、県や周辺の市町村と協力して国などに働きかけていきます。地域の盛り上がりが何よりも重要なので、若い皆さんにも関心を持ってほしいと思います。

全ての学校体育館に空調設備を



市内には、まだ体育館に空調がない学校があります。体育館は授業や部活動に使うだけでなく、災害が起きたときには避難所にもなります。夏の暑さや冬の寒さから生徒や地域の人を守るため、空調設備を早く整えてほしいです。空調があれば、暑い時期でも安心して体育の授業などを行うことができ、災害時にも避難する人の命を守ることにつながると思います。



土浦三中
内田 璃乃羽 議員

☎答弁

学校体育館は、暑さ対策だけでなく避難所としても重要であり、空調設備の必要性が高まっています。土浦小など6校は今年冬頃から工事を始め、下高津小と上大津小は令和9年度末までに設置する予定です。他の学校も改修工事と合わせて順番に整備していきます。

国際交流の充実を



外国の人たちとの交流をもっと身近にするため、二つの提案をします。

一つ目は、パロアルト市から来た人に亀城太鼓やれんこんなど、土浦らしいおもてなしをすることです。二つ目は、ご当地グルメを紹介する動画を作って、パロアルト市や台南市の学校と交換することです。実際に英語で話す楽しさを知ること、自信をつけられると思います。



土浦四中
武田 侑真 議員

☎答弁

パロアルト市の中学生に土浦の文化や食を体験してもらう機会を大切にしていきます。また、ご当地グルメを動画で紹介し合う交流は、生徒のみなさんが主体的に取り組みやすい素晴らしい企画なので、学校と協力しながら実現できる方法を検討していきます。

イオンと住宅街を結ぶ直通バスを



中学生や高齢者など車を運転できない人がイオンモール土浦へ行きやすくするため、住宅街とイオンを結ぶ「イオン直通バス」の運行を提案します。

今はバスの乗り換えが必要で時間もかかります。直通バスなら乗り換えがなく、子どもから高齢者まで安心して利用できます。運賃も利用しやすい金額にすることで、誰もが気軽に出かけられる、便利なまちになってほしいと考えています。



土浦五中
眞家 幹太 議員

答弁

公共交通が便利になると、子どもから高齢者まで外出しやすくなり、まちの活性化にもつながります。乗り継ぎ案内や待ちやすい環境の改善についても検討していきます。皆さんにも、普段からバスなどを利用して、公共交通を支えてほしいと思います。

子どもとつくる児童館へ



児童館を、子どもたちがもっと自分たちで考えて活動できる場所にすることを提案します。

例えば、子どもたちがイベントを企画したり、児童館のルールや使い方について話し合ったりする機会をつくります。中学生が小さい子どもに読み聞かせをすることも一案です。こうした活動を通して、子どもたちがお互いに学んだり助け合ったりできる場所になると思います。



土浦六中
池田 陽葵 議員

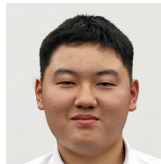
答弁

子どもたちがイベントの企画や準備、利用ルールについて話し合うことは、「自分たちの児童館」という気持ちを育てる大切な取り組みだと思います。中学生の読み聞かせなども含め、子どもが主体となって活動できる仕組みを充実させていきます。

花火大会のごみ問題を改善



土浦全国花火競技大会を持続可能なイベントとして発展させるため、ごみによる環境悪化やけがの防止策を提案します。具体的には、ごみ箱の設置場所をライトアップして見つけやすくし、また、多言語でポイ捨て禁止を呼びかける看板を設置します。来場者がごみを適切に捨てる意識を高めることで、会場の環境を守り誰もが気持ちよく花火を楽しむ大会になると考えます。



都和中
木村 公紀 議員

答弁

花火大会では、ごみの持ち帰りを呼びかけています。ごみ箱のライトアップについては、花火の見え方にも配慮しながら研究します。また、今年からポイ捨て禁止表示の多言語化を実施します。今後も、安全・環境に配慮した大会運営に努めます。

登下校中の地震を想定した避難訓練



地震はいつ発生するか分からないため、学校で登下校中の地震を想定した避難訓練を行うことを提案します。

登下校中は子どもだけになる場面も多く、自分で安全を確保する力が必要です。登下校方法ごとの注意点や避難方法を確認した上で、実際の通学路を使って少人数で訓練することで、地震発生時の状況を具体的に想像し、冷静に行動できるようになると思います。



新治学園
安達 聖虎 議員

答弁

ご指摘のとおり、登下校中の地震では先生がそばにいないため、自分で冷静に判断して行動する力が大切です。登下校中の安全確保のために、地域の防災訓練などを活用し、地域全体で子どもを守る体制づくりを進めていくとともに、今後も防災教育の充実に努めていきます。





中学生が司会とパネリストを務め、各校で取り組んでいるルールメイキング(生徒が中心となって、先生たちと話し合いながら、校則やルールを見直していく取り組み)の課題や今後の方向性について、意見を交わしました。今回は、今や身近になっているインターネットやSNS、生成AIとの向き合い方について話し合いました。

テーマ

「つながる自由、守る自分」～広がるネットの世界を味方につける私たちのルール～

話し合ったこと

各校の現状と課題を共有

事前に各校で行ったアンケート調査と話し合い活動の結果、全校でほとんどの生徒が日常的にSNS利用や学習のためにインターネットを使用していることがわかりました。

🌟 感じているメリット

- ・すぐに情報を調べられる
- ・友達とつながれる
- ・AIの活用で学習の効率アップ など



⚠️ 心配なこと・困りごと

- ・SNSでのいじめ、誹謗中傷
- ・個人情報の流出
- ・誤った情報、詐欺などの犯罪
- ・依存や生活リズムの乱れ など



特に議論した「使いすぎ」問題

少しのつもりが長時間に……。生活への影響も報告されました。



睡眠不足 勉強時間が減る 視力が低下

コントロールする工夫を共有！

- ・時間を決めて使う
- ・アプリごとに通知を制限する
- ・勉強中は別の部屋に置く など



「私たちのルール」を考える！

ネットを自分の味方にするためのルールを考えました。

各校の考えを聞くと、共通する部分がわかってきました。

どんなことに気をつける？



- ・個人情報を守る
載せない・見せない、流出させない
知らない人・危険に注意する
つながらない、聞かない、信じない
- ・情報をうのみにしない
調べて確かめる、疑って考える
- ・相手の気持ちを考えて発信する
思いやりのある言葉づかいを
- ・AIやスマホに頼りすぎない
自分で考え、判断し、上手に使う

サミット宣言

採択された中学生サミット宣言



議論の成果をまとめ、3つの宣言を採択しました。

1

ネットの「つながる自由」を楽しみつつ、常に「自分を守る」高い意識を持つ



2

各校で自分たちのルールを主体的に考え実践する



3

トラブルや困りごとがあれば一人で抱え込まず、学校や仲間と共有して解決する

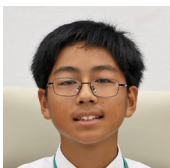


「これからも」各学校でネット利用に関する話し合いやルールづくりを続けていきます。



子ども議会・中学生サミットを終えて

「子ども議会」の議長と「中学生サミット」の司会を務めました。議会では、夢のある元気のある土浦市の実現を目指して熱心に議論されていることがわかりました。また、地域の未来のために提言をすることの難しさと大切さを学ぶことができました。この経験を活かし、まちづくりに協力していきたいと思います。



土浦三中
飯村 健大 さん

土浦の未来を担う皆さんと有意義な時間を共有できたことをうれしく思います。中学生が感じているリアルな課題を知ることができました。また、真摯に議論をする姿は大変頼もしく思いました。

皆さんには、地域社会の一員としてこれからの土浦市を力強く支えていただけることを心より期待しています。



安藤市長